

○ 各教科等編は、3枚のスライドで構成されています。

スライドの見方

1

国語科における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」(小学校)

1 単元の概要

学 年: 第6学年
単 元 名: 「筆者の考えを読み、説明の特徴を考え、学習感想文にまとめよう」5時間扱い
単元の目標: 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。〔思考力、判断力、表現力等〕C(1)ウ
※〔知識及び技能〕(2)イ、〔学びに向かう力、人間性等〕の単元の目標を達成することができる。

2 事例におけるICT活用のポイント


- 児童は、2画面表示で互いのシートを共有し、コメント機能を活用しながら共通点や相違点について話し合うことにより、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。
- 教師は、画面上で全ての児童の考えを一覧で把握することにより、全体交流の際の意図的な指名に生かすことができます。

3 使用したソフトや機能

- 文書作成ソフト
- 学習支援ソフトのファイル共有機能

【参考資料】

- 事例に関する学習指導案



各教科等で取り上げた単元（題材）の概要を示しています。

2

国語科における1人1台端末を活用した「個別最適な学びと協働的な学び」(小学校)

4 1人1台端末の活用例【ICTの活用場面①】


〈文章の構成を考える〉

- 筆者の文章の構成がどのように工夫されているかを考える場面に於いて、学習支援ソフト上に教師が作成した2つの構成表を提示します。児童は、構成表を比較することにより、説得力のある論の進め方について気付くことができます。
- ペアで交流する場面において、2画面表示により互いの画面を共有します。児童は、互いのシートを比較しながら共通点や相違点についてコメント機能等を活用して話し合うことにより、自分の考えを広げたり深めたりすることができます。

〈多様な考えを共有し、文章の構成を見直す〉

- 全体で交流する場面において、全ての児童の考えを一覧で確認できる画面を表示します。教師は、画面上で一人一人の児童がどのような考えをもっているかを把握することにより、意図的な指名に生かすことができます。
- 児童は、全体で交流した内容を基に、一覧に表示されている他者の考えを引用しながら、自分の考えを整理して端末に学習内容をまとめることができます。

【ICTの活用場面②】



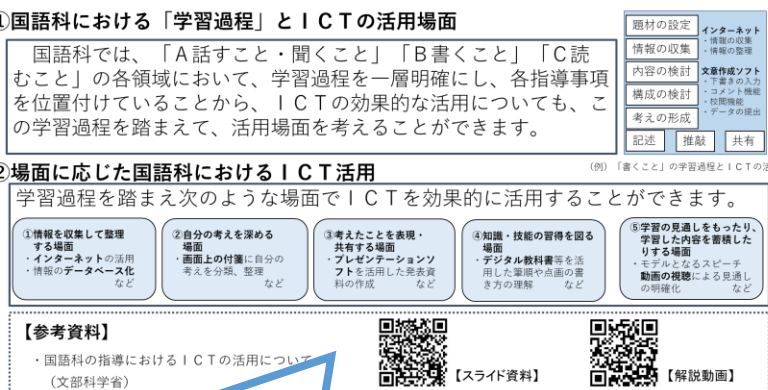
単元（題材）の中で、1人1台端末を活用する具体的な場面や方法を示しています。

3

国語科における1人1台端末を効果的に活用した授業改善のポイント

①国語科における「学習過程」とICTの活用場面

国語科では、「A話すこと・聞くこと」「B書くこと」「C読むこと」の各領域において、学習過程を一層明確にし、各指導事項を位置付けていることから、ICTの効果的な活用についても、この学習過程を踏まえて、活用場面を考えることができます。




②場面に応じた国語科におけるICT活用

学習過程を踏まえ次のような場面でICTを効果的に活用することができます。

- ①情報を収集して整理する場面
 - インターネットの活用
 - 情報のデータベース化など
- ②自分の考えを深める場面
 - 画面上の付箋に自分の考えを分類、整理など
- ③考えたことを表現・共有する場面
 - プレゼンテーションソフトを活用した発表資料の作成など
- ④知識・技能の習得を図る場面
 - デジタル教科書等を活用した筆跡や点線の書き方の理解など
- ⑤学習の見直しをもちったり、学習した内容を蓄積したりする場面
 - デジタルによるスピーチ動画の視聴による見直しの明確化など

【参考資料】

- 国語科の指導におけるICTの活用について (文部科学省)



各教科等において、1人1台端末を効果的に活用するためのポイントを示しています。